

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第2年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	KDDI株式会社		
事業所の名称	東日本テクニカルセンター 仙台第二ネットワークセンター		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区北目町7-27		
主たる事業	通信業		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>KDDI環境憲章</p> <p>【基本理念】 KDDIグループは、かけがえのない地球を次の世代に引き継ぐことができるよう、地球環境保護を推進することがグローバル企業としての重要な責務であるとして、環境に配慮した積極的な取り組みを、会社全体で続けていきます。</p> <p>【行動指針】 1. 当社の事業活動が地球環境に及ぼす影響を定量的に評価し、環境保全活動の効果的な仕組み作りと継続的な改善に努めます。具体的には、以下の通りとします。 (1) 省エネルギー、省資源、廃棄物削減等の環境問題を継続的に改善するために必要な環境マネジメントシステムの構築と運営 (2) 環境関連法規、条例等の規制、および要求事項の遵守 特に、地球温暖化防止の観点から電力消費量の削減に向けた施策の推進 (3) 社内外への適切な情報の開示によるコミュニケーションの促進 2. 次世代IT技術を活かした環境負荷低減型サービスの開発・提供に努めます。 3. 携帯電話端末等の大量消費を伴う事業活動で生じる環境負荷を低減させるための施策を進め、循環型社会の構築に貢献します。 4. 機器および物品の調達にあたり、環境配慮製品の調達を推進します。 5. 環境に調和した豊かな社会に向け、企業市民として社会・地域における保全活動に貢献します。</p>		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2020 年度	基準排出量	6,975 t-CO ₂	基準原単位	5.357
	目標年度	2022 年度	目標排出量	7,500 t-CO ₂	目標原単位	5.66
			削減率	-7.53 %	削減率	-5.66 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	7,041 t-CO ₂	排出原単位	5.154
			削減率	-0.95 %	削減率	3.78 %
	排出量等の増減理由	<p>計画時の予定通り、5G関連設備の設備増設があり、使用電力が増加しています。 これに伴い、排出量も想定通り約1%増となっております。 このまま設備増設は続きますが、auの3G携帯電話向けサービス「CDMA 1X WIN」の2022年3月31日終了をもって、可能な限り早期に関連設備の電源を停止してまいります。</p>				
	第2年度	2021 年度	排出量	7,500 t-CO ₂	排出原単位	5.293
			削減率	-7.53 %	削減率	1.19 %
	排出量等の増減理由	<p>計画時の予定通り、5G関連設備の設備増設があり、使用電力が増加しています。 また、21年度は猛暑だったこともあり空調稼働率(使用電力)が20年度より大きく増加しています。 これに伴い、排出量が想定以上となりました。 ただ、22年度にはなりません、auの3G携帯電話向けサービス「CDMA 1X WIN」の2022年3月31日終了をもって、早期に関連設備の電源が実施されており、使用電力も大きく削減出来ております。</p>				
	第3年度	2022 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
削減率			%	削減率	%	
排出量等の増減理由						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	88 %	目標年度	88 %	
	第1年度	88 %	実施状況の説明等	基本対策は予定通り実施出来た。	
	第2年度	88 %	実施状況の説明等	前年度と同じく予定通り実施出来た。	
	第3年度	%	実施状況の説明等		
選択対策の実施状況	項目				実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)				実施済
	デマンド管理				実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容			実施状況
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	当ネットワークセンターのエネルギー使用量のおよそ3割を占めるパッケージエアコンの運転管理および設備保守を徹底し、必要最低限の運転台数を維持することで最適なエネルギー使用量を維持する。			実施済
	環境マネジメントシステムの導入	「環境マネジメントシステムの導入」でISO14001を取得 登録証番号:JQA-EM3768(2004年取得)			実施済
	森林の保全・緑化の推進	KDDIは事業活動を行ううえで、電力消費を通じて大量のCO2を排出しております。その排出量は今後も増加傾向であり、森林育成によりオフセットするとともに、社会の一員として環境保全活動を通じて地球的課題となっている生物多様性保全にも取り組みます。 宮城県の実施例:かじか村森林保全活動(年2回程度)など			実施済
	環境教育・学習の実施(従業員以外を対象にしたもの)	上記No.3における活動においては、KDDI従業員の家族も一緒に活動しており、環境教育・学習の機会になっています。 宮城県の実施例:かじか村森林保全活動(年2回程度)、幸満つる郷の農園整備 亘理町・山元町 農業支援ボランティアなど			実施済
グリーン調達の実施	KDDIが提供する携帯電話およびその付属品を適用範囲として、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」および「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」が要求する基準へ対応しています。			実施済	